

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育教育計画は、その年度の「経営構想」にまとめられた＜子どもや保護者の実態＞＜瑞浪市幼稚園指導の重点＞＜地域の実態＞＜園の課題＞等を踏まえ、保育理念、教育保育方針、教育保育目標に基づき、編成している。保育教育計画は、毎月の職員会や年度末に職員間で評価し、次年度の編成に活かしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>室内には温湿度計を設置し、エアコンや換気を行い、適切に過ごせるように配慮している。また、用務員を配置し、より室内外の衛生管理、安全管理を強化している。子どもたちが、自然発生的にも小グループで遊びに集中できるよういくつかのシートが床に敷かれ、机と共に分散配置されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの姿や対応について日誌に記録し、職員全体で子どもの発達の姿を共有し、共通理解を持って保育にあたっている。また、様々な話し合いの会議で語るようにしている。エピソードを記録することで、子ども一人ひとりの姿を捉え、保育実践に活かしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本的な生活習慣については個別支援計画に沿って家族と連携しながら定着していくよう支援している。休息や午睡の必要な場合は、その子に応じてクラスの中に「仕切り」空間を整備し、睡眠を保障している。また、「どうしてもしなければいけないこと」と自然に身につくことを区別し、「どうしてもしなければいけないこと」には、「どうしてするのか」を伝え、子どもに応じた声かけで自発的にできる姿を大切に援助している。</p>	

改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>各クラスには園庭面に広いテラスがあり、いずれも室内での遊び空間として遊びたい活動のイメージをさらに引き出すことのできる場となっている。子どもが自発的にチャレンジできるように遊びの素材配置はもちろんの事、チャレンジカードを作り、ひとり一人が自分のチャレンジを記入でき、やってみようとして自ら動けるような環境づくりをしている。また、地域の方々の畑で年長児がサツマイモや大根等植え、収穫する機会を得たり、絵本の読み聞かせに来てもらう等、地域の人々と接する機会がある。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>未満児は在籍しておらず、非該当項目である。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>3歳児未満児は在籍しておらず、非該当項目である。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>まだまだコロナ禍の影響があり、活動が制限されることが多い状況にあるが、隣接する公園を利用したり、神社へも出かける等、恵まれた周囲の自然や環境を活用した保育を行っている。園庭には大きなドングリやイチョウの木があり、落葉で伸び伸びと遊ぶことができている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>加配保育士による日々の子どもの姿の記録に加え、「個別支援研究会」の開催を通して子どもの姿、発達の理解を共有し、援助の方法についても共通理解を深めている。保健センター等の専門機関から支援が必要な子についての情報を得て、援助方法について話し合い、保護者と共通理解できるようにしている。支援の必要な子は通園施設(ポケット)で週1回、指導を受けている。現在、支援の必要な子は増加傾向にあり、より一層、園の中で安心した生活ができるよう配慮した保育に努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>在園時間に応じて、例えば「多くの子どもの中ではなかなか自分を出せない子」等について、平日の子どもの数が少ない時間帯の中でその子に合った活動内容を変え、自分を出せるよう、また友達と交流できる機会を増やすことができるよう保育内容を工夫している。また、延長保育は異年齢児交流の場として有効に活用している。その日の子どもの状況について、担任は伝達事項を連絡用紙に記入し、延長保育士に渡し、引き継ぎし、保護者にもホワイトボード等に記入し、確実に伝えている。延長保育の専門保育士が配置されており、子どもや保護者の安心感につながっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>コロナ禍により、子どもたちの小学校での直接的な体験は中止になっているが、アプローチカリキュラムを通して、無理のない移行に向けた育ちの援助を行っている。個別支援を必要とする子どもに関しては、個別支援研究会に小学校校長、教頭に参加いただく等、子どもの様子を見てもらうよう機会作りに努め、今後の援助方法について情報共有を行っている。大半の子が同じ小学校に持ち上がり入学することや、位置的に園の眼下にすぐ見えるので、子どもたちにとって小学校は親しみを持つ存在として受け取られている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>コロナ禍でもあり、家庭での健康チェックを毎日提出してもらっている。毎朝の朝礼を通して、子どもの体調変化についての情報共有を図り、ヒヤリハットに限らず、既往症や持病のある子等についても一覧にして全職員の共通理解を図っている。感染症にかかった子がいた場合は、速やかにホワイトボードや手紙で知らせている。未満児保育のない園ではあるが、SIDSに関する配慮は必要であり、SIDSに関する職員研修の実施に加え、保護者にも情報提供を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>年2回の内科健診や歯科健診を行い、健康状態を把握し、結果は家庭に知らせている。必要な場合は、受診してもらい、結果を知らせてもらっている。内科医、歯科医は園の近くにあり、すぐに相談できるよう日頃から連携関係を密にしている。保健だよりを通して、季節ごとに健康管理についての情報を保護者に発信している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点： アレルギー対応献立表を保護者に渡し、確認してもらっている。また、毎朝、朝礼でアレルギー児の献立の確認を職員間で行い、共通認識を図っている。食事提供の際は、担任と副担任で確認チェックをし、アレルギーのある子のトレイ使用の工夫や、食べる際の配慮を重ねている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 今年度はコロナ禍の影響で、食に関する保育活動が中止や制限的にならざるを得ない状況にあるが、例年は、5歳児は野菜の栽培や収穫後の食材を調理に提供したり、自分たちで調理する等、楽しめる企画を活動に取り入れている。また、食事時のコロナ対策として、速やかな黙食の配慮で曇りガラス状の衝立が設置されているが、子どもたちにとって食事が楽しみなものになるよう、人気メニュー等はレシピを配布し、家庭での親子の楽しい食事につなげている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 園内調理であり、園の子どもに合わせた給食が適時適温で提供されている。調理員、栄養士が把握した子どもたちの喫食状況をもとに、献立の見直しをする等して、子どもたちがおいしく安心して食べることができるよう食事の提供に取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 保護者には、送迎時に口頭で知らせたり、連絡帳を利用して情報交換したり、園だより、クラスだより、園通信や掲示板を活用する等して、保育内容を伝えている。年2回の定期的な個別懇談の実施に加え、随時、懇談の機会を設ける等、情報交換の機会の充実化に向けた取り組みを行っている。子どもたちの発表会「なかよし発表会」もコロナ禍の中、密を避けた取り組みで実施され、保護者からの感想も広報紙「きずな」に丁寧に紹介されている。また、保育者から子どもたちの姿や想いを同じ面に記載する等し、子どもたちの理解をさらに深めるべく配慮に努めている。</p>	

改善できる点／改善方法：

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>現在コロナ禍の影響で、雨の日以外は園内への立ち入りを制限せざるを得ない状況にあり、保護者とのコミュニケーションも以前と比べて取りづらくなっているが、その中でもできる限り、送迎時における保護者とのコミュニケーション確保に心がけている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>虐待防止と発見対応に関するマニュアルがある。虐待の疑いのある子どもを早期発見し、対応できる体制づくりが重要であるとの観点から、職員全員で虐待に関する認識を共有できるように、研修資料等を職員会議で配布する等し、全職員への周知を図っている。身体計測の時のチェックを行ったり、子どもの言動に気をつけたりして、疑わしい場合は園長に報告することとしている。日頃から職員室で様々な問題について話し合えるよう職員関係づくりに努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年1回、自己評価を行い、また、年度初めに目標設定をし、各期で自分の保育を振り返り、次に活かすようにしている。各クラスの子どもの育ちをエピソードで捉え、保育の振り返りを行い、確認したり、保育実践を振り返り、職員間で次への課題や互いの気づきを支援に活かせるようにしている。全体会で保育実践における課題や職員の困り感等を話し合うことで保育内容の改善や専門性の向上につなげている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 隔月に、職員の防犯訓練を実施しており、様々な不審者侵入を想定した訓練を行う等して、園全体で対応できるよう体制を整えている。敷地内に防犯カメラを設置し、不審者のチェックができるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 1年間の行事予定については4月に保護者に伝えているが、今年度はコロナ禍の影響で保育参加や給食試食会を中止せざるを得ないことが多い状況にあるが、例年は、年2回、親子で一緒に参加できる保育参加や給食試食会等、保護者の保育参加を促す工夫をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会役員会は園内で行い、職員も参加している。保護者会活動で、園を使用したい時には協力し、また、子どもたちへのプレゼントや運動会での手伝いをしていただく等、園への協力体制もできている。交通(安全)指導やあいさつ運動等も保護者会役員に参加していただいている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 現在は、行事等、子どもたち同士で、直接に交流する機会は制限されている状況にあるが、幼小中一貫教育推進協議会には、同学区の幼稚園3園を含めて参加しており、小学校、中学校からは校長、教頭、保護者会長等が参加するとともに、家庭や地域が連携して子どもたちを育て合う組織体制ができている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	